

# おやま 町議会だより



2026年2月1日号

NO.  
185



小さな団体が大きな賞を！

おでかけクラブ

厚生労働省老健局長優良賞受賞

## 小山町営温水プール建設の賛否を問う 住民投票条例を否決

- ・各常任委員会…………… 4
- ・賛否が分かれた議案等…………… 5
- ・議長不信任決議案動議…………… 5
- ・一般質問に6人が登壇…………… 6
- ・「議員が行く！」…………… 14



発行：静岡県駿東郡小山町議会

令和7年12月定例会が11月28日から12月12日までの15日間の会期で開かれました。  
定例会では、補正予算8件、条例の制定・改正8件、指定管理者の指定5件、報告4件、町道路線の認定・変更2件、同意2件、財産の取得1件、総合計画後期基本計画の策定1件、住民投票条例について1件の32議案が提出され、審議の結果、住民投票条例を除き、いずれも原案のとおり可決しました。

小山町営温水プール建設の賛否を問う住民投票条例の制定を求める直接請求の経過については、

こちら



## 反対論

### 【遠藤 豪議員】

温水プール建設事業については、2年前の町長選挙において町長がその公約として、小学校プールを町内1か所に集約し、学校プールだけでなく町民誰もが利用できる公設民営としたとの考えを示し当選しました。これは正に町民の民意のあらわれです。

このことから首長としてマニフェストに掲げた事業を具現化するのには当然であり、議会としても十分な審議をし、可決承認されておりその過程に全くの誤りはありません。以上のことから住民投票は、必要ないと考えます。

### 【池谷 元議員】

私は、令和7年6月に山梨県早川町に行ってきた。早川町は人口9000人を切った、日本で一番小さな町です。この町の小学校には屋内温水プールがあります。

辻前町長と話した中で温水プールの話をしました。児童一人に1億円、当時の児童数は14名で14億円で温水プールを造ったそうです。「今は9名の児童のために最高の環境で水泳の授業を続けるんだ」「子どもたちへの投資は未来への投資、子どもたちへの投資はやめてはいけないんだ」と言った辻前町長の言葉が今でも私の耳に残っています。

### 【小林 千江子議員】

住民投票は、政策判断の最終段階で用いる制度であり、すでに議会で複数年にわたり審議され、予算措置や事業決定がなされた本件に適用することとは、議会制民主主義の手続き上、適切とはいえません。温水プール整備は娯楽目的ではなく、老朽化した学校プールを統合する教育インフラ事業です。安全性、教育課程、財政計画など多面的な判断を要します。

将来世代の教育環境を、一時的な多数決に委ねるべきではなく、住民投票の導入には反対です。

### 【渡辺 悦郎議員】

町民の教育、健康、福祉はかけがえのないものであり先行投資でもあり、そして何よりもスピード感が求められます。高齢者においては「一日でも長く自分の脚で歩きたい」と願っております。その環境づくりは行政の責務であります。

子どもから高齢者まで、町民全てが健康づくりに取り組める環境を整えるためにも温水プールの建設は一日も早く進めるべき事業であり、住民投票を行うまでもなく進める事業であり反対いたしません。

## 直接請求制度とは

直接請求とは、住民が選挙で選んだ代表者によって運営される間接民主制を補う仕組みとして、普通地方公共団体の議会及び長の選挙権を有する者の一定の数以上の連署（署名）を集めることで、その代表者から条例の制定・改廃や議会の解散等を請求することができる制度です。

賛成 6 反対 6

議長裁決で  
否決

# 小山町営温水プール 住民投票条

「小山町営温水プール建設の賛否を問う住民投票条例」は、地方自治法の規定による直接請求制度に基づき、普通地方公共団体の議会の議員及び長の選挙権を有する者の50分の1以上の署名（1,761人）をもって、その代表者から、町長に対し、住民投票条例の制定の請求がなされ、町長は、“反対”の意見を付して議会に付議しました。

## 賛成討論

【石原 和美 議員】

温水プール建設において、これまで町民の思いは反映されてきていません。自治の主体である町民の意見を抜きにして、スピードと実行力だけで事業を進め、議会の議決さえ通れば良いという当局の姿勢には納得できません。

私は議員として多くの方から反対意見を聞いている以上、その思いを町政に届ける責任があります。この条例案は、町民の声に耳を傾ける最後のチャンスです。町民の信頼を得るためにも賛成すべきと強く訴えます。

【藺田 豊造 議員】

私は「町政を町民の手」に訴え、町民の声を町政に届けるを旨として町政に臨んでいます。今議案は、温水プール建設の是非を町民の投票によって決めたいとする条例案です。町民の声であることは言うまでもあり

ません。

大きな財政出動の費用対効果、持続性など大きな不安を残したまま町民の声をシャットアウトしたことは、役場の大きな失態であります。

町民の尊重こそ町の発展につながるものと私は確信しています。議案の賛成は当然です。

【牧野 恵一 議員】

町内五つの小学校のプールは通常必要な管理によって使用できています。逆に、1か所になつたら授業で使うのは無理です、というのが現場の先生の声です。造成工事契約後の住民運動を遅いという声もあります。

しかし、非難されるべきは、15億円ともいわれる大事業にもかかわらず、町民の反対の声を聴くのは意味がないとか時間の無駄だと公言して切り捨て、計画から着工まで1年足らずで進めてきた小山町の行政姿勢そのものであります。

であります。

【岩田 治和 議員】

温水プール建設の賛否を問う住民投票は、建設賛成、反対を問うだけではなく、町民の意見を無視するかどうかを問う内容と考えます。

この条例を否決するようでは民意を全く無視した議会と解釈されても仕方ないことです。

また、賛成反対が同数による議長裁決が続いているが、民主主義の原則から、同数であれば先に進めるのではなく、一旦元に戻し再検討すべきと考えます。

【白井 光昭 議員】

議員選出は、4年間の白紙委任ではありません。温水プールのような長期的な影響を与える重要課題こそ、議会の判断と町民感覚とのズレを確認する謙虚さが必要です。

住民投票は議会の権能放棄ではなく、多様な民意を補完し、民主的正当

性を得るための手続きです。町民の信託に応えるためにも堂々と投票を実施し、その結果をもって最終的な政治判断を下すべきです。

よって、本議案に対し賛成いたします。

【平野 正紀 議員】

温水プール建設は、町民への説明や意見聴取が不十分なまま、基本計画策定から工事着手まで短期間に進められてきました。14億円もの大事業にもかかわらず、30年に及ぶ起債償還や、将来必ず発生する設備更新・大規模改修費など莫大な財政負担が示されていません。

自治基本条例が掲げる町民主体のまちづくりに対し、1761人の署名に表れた町民の不安と不信の声を重く受け止め、住民投票により真の民意を確認することが不可欠です。

ピックアップ

# 12月定例会



# 常任委員会報告



## 総務建設委員会 委員長 小林 千江子

とはないと考えています。  
調査したところ10名の増員が見込まれ、待機児童の発生を防ぐために増築工事をするものです。

### 総務建設委員会に付託された、8議案について、12月5日に審査を行い、原案のとおり可決すべきものとした。主な内容は、次のとおり。

- 国**の交付金が付かなかった場合、どのように考えているか。

**財源確保**が非常に重要と考えていますので、万一交付金が付かなければ、予算削減または未執行になると考えています。

**菜の花ホールプロジェクター設置工事の取り付け理由とその効果**は。

現在、常設されているプロジェクターはなく、事務室から持つてきてセッティングしています。光の弱いプロジェクターのため、室内を暗くしなければならず、資料を見ることやメモをとることができません。また、手動のスクリーンで、位置を決めるのに煩雑な作業が必要でした。

## 文教厚生委員会 委員長 渡辺 悦郎

文教厚生委員会に付託された、4議案について、12月8日に審査を行い、原案のとおり可決すべきものとした。主な内容は、次のとおり。

## 一般会計補正予算 (第5号)

- 子育て支援事業の放課後児童クラブ整備の補正理由**は。

明倫小学校放課後児童クラブにおいて、現在定員47名を受入れていますが、来年度利用希望を

4月1日から令和18年3月31日まで指定管理者に指定するもので、審議の結果、

## 小山町道の駅「ふじおやま」地域振興センター及び小山町農村活性化センター

小山町道の駅「ふじおやま」地域振興センター及び小山町農村活性化センター  
指定管理者選定委員会  
で候補者として選定された「株式会社ふじおやま」を令和8年4月1日から令和13年3月31日まで指定管理者に指定するもので、審議の結果、

## 小山町道の駅「すばしり」観光交流センター

小山町道の駅「すばしり」観光交流センター  
指定管理者選定委員会  
で候補者として選定された「株式会社名鉄ミライー」を令和8年4月1日から令和13年3月31日まで指定管理者に指定するもので、審議の結果、

## 小山町立水田利用再編対策研修センター施設

小山町立水田利用再編対策研修センター施設  
指定管理者選定委員会  
で候補者として選定された「一色区」を令和8年

## 小山町食の創造拠点施設の設置及び管理に関する条例の制定

旧するがおよまこども園舎の第2園舎をリノベーションし設置する「小山町食の創造拠点施設」の設置及び管理について必要な事項を定めるもので、審議の結果、

## 小山町立学校等使用条例の一部を改正する条例

中学校体育館に空調設備を設置することに伴い、新たに冷暖房使用料を定めるもので、審議の結果、

## 指定管理者の指定

## 小山町立大御神コミュニティセンター

小山町立大御神コミュニティセンター  
指定管理者選定委員会  
で候補者として選定された「大御神区」を令和8年4月1日から令和18年3月31日まで指定管理者

## 第5次小山町総合計画後期基本計画の策定

第5次小山町総合計画後期基本計画の策定  
令和8年度から令和12年度までを期間とする後期基本計画を策定するもので、審議の結果、

## 小山町監査委員の選任

小山町監査委員の選任  
新たに、池谷智明さん(上野)の選任に同意。任期…令和11年12月31日

# 賛否が分かれた議案等

# 12月定例会

○ … 賛成 × … 反対 — … 議長は採決に加わりません ※ … 可否同数のため議長裁決

議案番号	議案名	審議結果	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13
			平野 正紀	池谷 元	石原 和美	牧野 恵一	白井 光昭	小林 千江子	遠藤 豪	渡辺 悦郎	岩田 治和	藺田 豊造	米山 千晴	室伏 辰彦	鈴木 豊
議案第78号	小山町職員の給与に関する条例及び小山町一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部を改正する条例について	可決	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第89号	小山町営温水プール建設の賛否を問う住民投票条例について	否決	○	×	○	○	○	×	×	×	○	○	×	×	※
動議	議長不信任決議案	成立	○	×	×	○	○	×	×	×	○	○	×	×	—
日程追加	議長不信任決議案	否決	○	×	×	○	○	×	×	×	○	○	×	×	—
議案第97号	小山町食の創造拠点施設の設置及び管理に関する条例の制定について	可決	○	○	○	×	×	○	○	○	×	×	○	○	—
議案第100号	令和7年度小山町一般会計補正予算(第5号)	可決	○	○	○	×	×	○	○	○	×	×	○	○	—

**議案第78号**  
小山町職員の給与に関する条例及び小山町一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部を改正する条例について

**反対討論**

【**牧野 恵一 議員**】  
本議案は、地域経済、具体的には町内の民間の給与とのバランスに関する考察もなく、納税者への説明責任を果たしていない。

**案号**  
議案第97号  
小山町食の創造拠点施設の設置及び管理に関する条例の制定について

**反対討論**

【**藺田 豊造 議員**】  
やりたいという意欲が伝わってこない。確かな意欲のある筋道を示されない限り、にぎわいの創出などできない。

【**岩田 治和 議員**】  
詳細な経営計画がないとともに、1民間企業のために設備等の変更に約3億円をかけることは、実質、保証であり、認められない。

【**白井 光昭 議員**】  
説明責任、法令順守、そして経営見通しの全てにおいて欠陥のある本議案を、現段階で承認することは、町民への背任行為である。

**賛成討論**

【**米山 千晴 議員**】  
本条例案に基づく本施設は、6次産業化やにぎわいの拠点作りを通じて、小山町の未来に活力を生み出す重要な拠点施設である。

【**渡辺 悦郎 議員**】  
この拠点が整備されることで、町内の生産者には新たな夢と希望が生まれ、加工業の先駆けとして新たな産業が育つ可能性が広がる。

**動議**  
**議長不信任決議案**

12月定例会最終日(12月12日)、議案第89号小山町営温水プール建設の賛否を問う住民投票条例についての採決後、藺田豊造議員から議長不信任決議案の動議が発議され、2人以上の賛成者があった動議は“**成立**”しました。その後、本会議において日程追加について、賛成少数で“**否決**”されたことから会期の終了により“**審議未了(廃案)**”となりました。



石原 和美

YouTubeにてこの一般質問の様子がご覧いただけます



(大阪府藤井寺市のホームページより)

要介護にならず、健康寿命を延ばそう!

Q フレイル予防の現状と課題について  
A 現在の取り組みを継続するとともに拡充に努めます

令和7年9月に「健康寿命を延ばそう条例」が施行された。町民が元気に暮らし続けるために重要な手段であるフレイル予防の町の取り組みの現状と課題、今後の方向性について伺う。

令和7年9月に「健康寿命を延ばそう条例」が施行された。町民が元気に暮らし続けるために重要な手段であるフレイル予防の町の取り組みの現状と課題、今後の方向性について伺う。

現在ある居場所等につ

Q わが町の男女平均寿命とお達者年齢、町内におけるフレイル該当者や予備軍の把握状況は。

A 住民福祉部長  
令和2年の平均寿命は男性81・3歳、女性87・7歳です。令和5年のお達者年齢は男性79・4歳、女性84・6歳です。

いるのか。

A 長寿介護課長  
より多くの方に自分の体の状態を知っていただくため、健診の受診勧奨を行います。また、各種事業でのフレイルチェック実施を検討します。

Q 「元氣ファーム」のような男性が生き生きと活躍できる取り組みの拡充が必要では。

A 長寿介護課長  
男性が参加しやすい取り組みの拡充に向けて検討します。

Q 居場所づくりは行政だけでは成しえず、地域の力が不可欠。地域が一体となり総力を上げて取り組むべきと考えるが町の見解は。

A 長寿介護課長  
住み慣れた地域でいまでも元気に暮らすため、お互い様の助け合いの地域づくりを目指す生活支援体制整備事業に取り組んでおり、地域のことを地域の皆さんが話し合う場である協議体の設置を進めています。協議体の設置を推進するとともに、居場所をはじめとするさまざまな取り組みが生まれるような後押しと支援をしていきます。

Q 健診受診者の約7割がフレイルリスクを抱えている。この状況を受け、どのような対策方針を持つて

A 長寿介護課長  
公式LINEへのフレイルチェック追加、ヒヤリングフレイルの導入についてはいかがか。

Q フレイルチェック拡大の方策として、公式LINEのフレイルチェック追加、フレイルチェック会の開催、ヒヤリングフレイルの導入についてはいかがか。

Q 町の福祉及び介護計画の中では、フレイル予防に有効な居場所の数が目標に達せず、減少しているが対応策は。

現在ある居場所等につ

Q 長寿介護課長  
公式LINEへのフレイルチェック追加、ヒヤリングフレイルチェックの導入については、今後研究します。

Q 町の福祉及び介護計画の中では、フレイル予防に有効な居場所の数が目標に達せず、減少しているが対応策は。

現在ある居場所等につ

Q 長寿介護課長  
現在ある居場所等につ

現在ある居場所等につ

現在ある居場所等につ

現在ある居場所等につ

現在ある居場所等につ

現在ある居場所等につ

現在ある居場所等につ

現在ある居場所等につ



岩田 治和  
(町民本位の会)

YouTuberにてこの  
一般質問の様子が  
ご覧いただけます



用水路は流域の住民が保守管理している

## ◎良質な水資源は町の財産です A 水路の維持管理と地下水利用の適正化、水質の保全に努めます

本町は、歴史的に水道料金の安い自治体として、豊富な良質な水を維持し、水資源は大きな町の財産と考える。

また、古くから町内に多くの用水路が張り巡らされ日常生活の中で、農業用水、生活用水として重要な存在である。

さらに、観光面においても富士山の麓に流れる川は、見るからに清流であり、風光明媚な風景を形成し、後世に残すべき大切な遺産と考える。

古くは、豊富な水が必要とする紡績会社や電力会社の進出が見られ、本町の発展に大きく寄与した歴史があり、近年は、豊富で良質な水を求め食品会社の工場進出が進み、町内で取水されたミネラルウォーター等が日本全国の取扱店に運ばれ販売されている状況にある。

しかし、町民の方々からは良質な水資源を行政として維持管理ができていいのか疑問視する声もささやかれている。

算の範囲内で修繕を実施し、水路の機能維持が図られるよう、対応していきます。

◎無秩序な地下水採取を防止するための指導、監督は。

### A 企画総務部長

地下水については、「小山町土地利用事業の適正化に関する指導要綱」において、揚水機の吐出口の断面積が14平方センチメートル以上の揚水設備については、町に届け出ることが規定されています。

また、揚水設備を設置している事業所を対象に実態調査を行い、使用状況等を確認しています。

◎河川の水質の定期検査の状況と汚染状況また湧水量の変動は。

### A 企画総務部長

環境基準の達成状況を、確認するため、鮎沢川、

馬伏川、佐野川、須川、野沢川の五つの河川10地点において年5回、さらに、その支流等14地点において年1回実施しています。

結果については、大腸菌数の超過等、一時的な水質変動が見られることもありますが、環境基準を大幅に逸脱し、汚染が深刻化しているという状況にはありません。

湧水量の変動については、湧水量の調査結果や町水道施設の井戸の水位状況から、これまでに大きな変化は認められていません。

◎農業用水、生活用水の保全と維持管理への対応は。

### A 経済産業部長

水路の土砂上げや清掃等の日常的な維持管理は、利用される各地域の皆さんにお願いしています。このため、町では、地

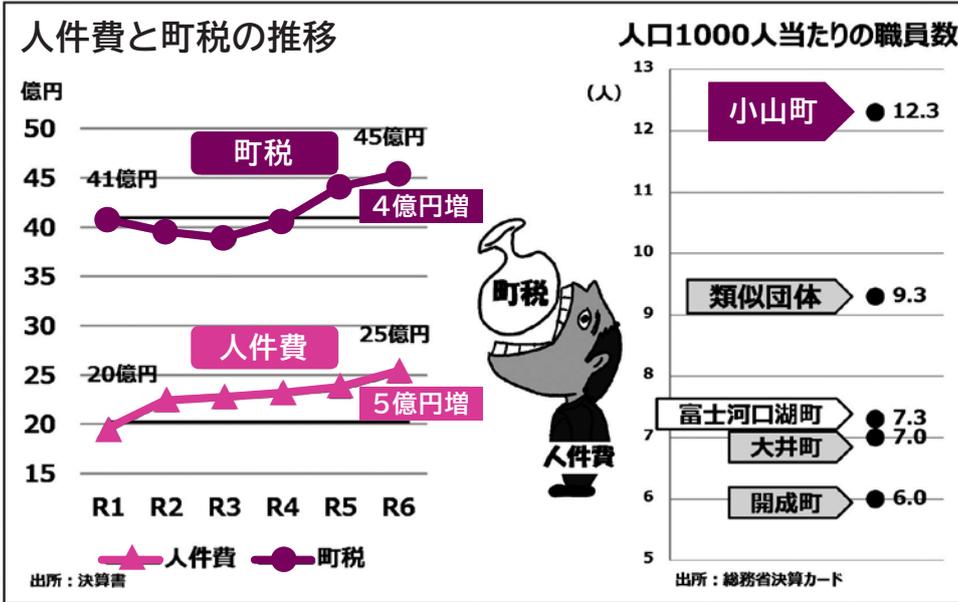
域の共同活動に活用できる、国の補助制度を積極的に推進し、支援していきます。

また、施設の保全については、機能診断や補強などを行い、施設の長寿命化に努めるとともに、区要望等に対しては、予



臼井 光昭  
(町民本位の会)

YouTuberにてこの  
一般質問の様子が  
ご覧いただけます



増えた税 全て飲み込む 人件費

## ◎ 人件費構造の適正化と持続可能な行政体制の確立について

### ▲ 引き続き健全な財政運営・行政経営を目指します

「小山町長期行財政運営計画」では、令和9年度に基金が枯渇する見込みとされている。その主因の一つが、ここ5年で約5億円(25%増)も膨張した人件費である。町税増収分約4億円が、人件費増に吸収されている。本町の職員数(人口1000人当たりの職員数)12.3人は、類似団体(9.3人)や近隣自治体(6.7人)と比較しても大幅に多く、財政構造の硬直化を招いている。

また、会計年度任用職員(令和6年度211人)も本来の「柔軟な運用」から「欠員補充の恒常化」へと変質している。

一方、企業誘致による税収増は、設備の減価償却や人手不足等の要因から限界が見えている。「誘致頼み」の昭和的な発想を脱し、事務再設計、民間委託、AI活用等による抜本的な内部構造改革が不可欠である。

以上を踏まえ、行政経営の転換について伺う。

◎ 職員数・人件費の現状と長期計画との乖離に対し、どのような対策を講じるのか。

▲ 企画総務部長

現「長期行財政運営計画」は、令和3年度までの収支の推移等を基に推計しており、近年の急激

な物価や賃金水準の上昇、それに伴う税収や交付税等の増加は見込んでおらず、特に、固定資産税の大幅な増収は考慮されていません。本年度の職員数は、「第7次定員適正化計画」の計画数値と比べて24人少ない配置

となっており、職員数が多いとは考えていません。人件費については、人材確保の観点からも人事院勧告に基づき改定を実施してきました。現在、令和4年度以降の収支の推移等を反映するため、長期行財政運営計画の改定を進めています。

◎ 会計年度任用職員の業務が常勤化している現状に、どう対応するのか。

▲ 企画総務部長

会計年度任用職員には、常勤職員では対応できない時間帯や業務を担っていただいております。子育て環境の向上やさまざまな教育ニーズに対応するために必要な配置をしています。

今後、子どもの数の推移等の変化に対応することや事務の効率化・改善をしながら適切な配置について検討します。

◎ 企業誘致依存から脱却し、自ら内部構造改革を進める考えはあるか。

▲ 企画総務部長

町民の働く場所の確保や町の活性化、人口減少対策などのために「三来拠点事業」を推進してきました。固定資産税の増など目に見える形で成果が表れており、今後も増収が想定されます。

しかしながら、中長期的な収支の見通しや人口の推移等から状況を分析して対策等を立てることは、非常に重要であり、引き続き健全な財政運営・行政経営を目指します。



小林 千江子  
(新生会)

YouTubelにてこの一般質問の様子がご覧いただけます



■性犯罪・性暴力等に係る懲戒処分等の状況（教育職員）（令和5年度） 文部科学省ホームページより抜粋

(1)性犯罪・性暴力等に係る懲戒処分等の状況（当事者責任）（令和5年度）

	免職	停職	減給	戒告	合計	訓告等	総計
性犯罪・性暴力等	195	69	17	8	289	31	320
(性犯罪・性暴力等のうち、児童生徒性暴力等)	〈155〉	〈2〉	〈0〉	〈0〉	〈157〉	〈0〉	〈157〉

※児童生徒等：幼児・児童・生徒（18歳以上の者を含む。）、18歳未満の者

(2)被処分者の性別

※( )は児童生徒性暴力等による人数・割合

被処分者の性別	人数(人)	割合(%)
男性	316人 (155人)	98.75% (98.73%)
女性	4人 (2人)	1.25% (1.27%)
合計	320人 (157人)	100.0% (100.0%)

(3)被処分者の年齢層

※( )は児童生徒性暴力等による人数・割合

	被処分者数A	在職者数B	A/B
20代	105人 (73人)	155,597人	0.07% (0.05%)
30代	86人 (41人)	226,266人	0.04% (0.02%)
40代	51人 (19人)	191,355人	0.03% (0.01%)
50代以上	78人 (24人)	299,080人	0.03% (0.01%)
計	320人 (157人)	872,298人	0.04% (0.02%)

(注1)在職者数：令和4年度学校教員統計調査より

(注2)A/Bの分母は令和4年度のものであり、参考数値

性暴力から子どもたちを守るために、しっかりとした取り組みを！

◎子どもを守る性暴力防止への取り組みは  
A 性暴力防止への取り組みを行っています

令和5年度に全国で懲戒処分等を受けた教育職員は4829人、このうち性犯罪・性暴力等により懲戒処分を受けた教育職員は320人で、これは統計を取り始めた平成23年度以降最多の人数である。

本来、児童生徒を守り育てる立場にある教育職員が児童生徒に対し「魂の殺人」とも呼ばれる性暴力を行うことは言語道断である。

◎町の状況と課題は。

A 教育次長

町内の園児及び児童生徒への性暴力等の発生報告は受けていません。一般的な課題としては、被害を受けた子どもたちが、恥ずかしさや恐怖心から周囲に相談できないことが少なくないなど、表面化しづらいという特徴があります。

◎潜在的な被害を把握するために匿名でのアンケート実施が必要なのでは。

A 学校教育課長

まず把握するという視点から「匿名アンケート」の実施についても、検討していきます。

◎採用選考時の関係書類において「賞罰欄の設

◎子ども園、小中学校、学童、公営塾やALTなど、子どもたちを取り巻く大人を採用する際に性暴力対策に対してどのような未然防止を講じているのか。

A 企画総務部長

子ども園の保育教諭を採用する際には、「保育士特定登録取消者管理システム」で、保育士資格を取り消された経歴があるかについて確認を行っています。また、小・中学校で採用する臨時的任用職員等については履歴書や免許状の確認とともに「特定免許失効者等に関するデータベース」を活用しています。

◎総務課長

募集要項に地方公務員法第16条の欠格条項に該当する者は受験できないことを記載していますが、「子ども性暴力防止法」が施行された以降は、国のガイドラインに沿って採用選考を実施します。

A 教育次長

子ども園では、今年度、全職員を対象に、性暴力を含めた虐待全般について防止対策の講習会の開催を計画しています。小・中学校では、各学校において、県からの通知や資料を基に、定期的な勤務・サービスに関する研修の一環として、管理職による性

◎教職員や保育士同様、非常勤教員や補助教員、外部講師も含めALTや学童等の子どもに係る全ての人員に対し性暴力防止指導の講習会実施が必ず必要なのは。

A 教育次長

令和8年3月に改訂予定の「第3期子ども子育て支援事業計画」及び現在策定中の「第2次小山町教育振興基本計画」において何らかの形で計画に加えていきます。

暴力防止等の指導を行っています。

◎小型化・巧妙化する盗撮目的のカメラ探知の対策は。

A 教育次長

子ども園では、現在行っている日常の点検に加え、参観日、園行事などの不特定多数の来園があったときはその都度、職員の見視による点検見回りを実施します。小・中学校では、教頭等が毎日校内の点検を行っています。

◎町の姿勢として、事業計画や総合計画へ「性暴力」を反映させ、性暴力は許さないという気概を示されては。

A 企画総務部長

令和8年3月に改訂予定の「第3期子ども子育て支援事業計画」及び現在策定中の「第2次小山町教育振興基本計画」において何らかの形で計画に加えていきます。



牧野 恵一  
(町民本位の会)

YouTuberにてこの  
一般質問の様子が  
ご覧いただけます



■一般会計、性質別歳出の割合・単位%

市・町	性質	令和4年度	令和5年度	令和6年度
小山町	総務費	26.4	17.8	23.2
	民生費	21.0	18.1	19.0
御殿場市	総務費	21.0	19.4	16.1
	民生費	28.0	28.1	29.9
裾野市	総務費	9.7	8.6	10.1
	民生費	31.4	30.6	28.5
長泉町	総務費	10.0	11.0	9.6
	民生費	39.1	38.8	37.6
大井町	総務費	13.2	14.6	15.7
	民生費	34.0	34.7	32.3
開成町	総務費	14.8	21.0	18.1
	民生費	33.0	33.7	33.0

- ・総務省発表の財政状況決算カード及び各市町データを基に牧野が編集。
- ・令和6年度は当初予算額。
- ・神奈川県大井町と開成町は、小山町と人口や産業構造が似通った同じ都市類型に分類されています。

◎ 町長の行政姿勢と予算配分について  
 A 必要な予算を充て、町民の生活など質の向上を図ります

小山町の予算配分は、町民の暮らしの向上よりも行政の対外的な見栄えに重点を置いているように思われてならない。この12月議会においても年度中途であるのに、仕組み作りが稚拙なままに、すなわち町民に与える負の懸念は一切検討せずに大規模事業に着手しようとしている。

税金の使い道は、総務、民生、農林水産、教育などに分かれるが小山町は高齢者福祉、障がい者福祉、子育て支援などの住民サービスの基礎である民生費には20%程度しか投じていない。近隣の市町では30から40%で、最も多くの税を投入している。

町は人口減少対策としてモノづくりに積極的ですが、その効果は見えず、消滅可能性都市に極めて近い状況に変わりはない。出生者の減少に加えて、転入者より転出者が毎年140人程度多いという社会減少の状態にあるからである。

◎ 小山町からの転出者を減らす視点でも、地域社会維持のためにも、今現在の町民の福祉向上に直結する民生分野への配分増が必要だと考えるがいかがか。

A 企画総務部長

予算の構成比は各自治体の重点施策によりさま

万2千円、清水町が13万2千円、長泉町が15万4千円です。本町の民生費が極端に低いということはありません。

民生費は社会保障制度の一環として、生活に困窮している人や児童、高齢者、障がい者などの生活を社会全体で支援するための扶助費の割合が、4割弱を占めています。町民の生活及び福祉の充実のために必要な経費として、毎年度必要な予算を確保します。

◎ 長泉町は子育てに優しい町という評価で暮らしやすい町というイメージを得ている。

小山町が民生費事業を拡大し、町民一人一人と顔の分かる関係を築き「高福祉のまち」を掲げて、住み続けたいまちづくりを進めることこそが、宿命づけられた超少子超高齢社会に必要なことと考えるがいかがか。

A 企画総務部長

障害者手帳所持者数、生活保護受給者数は、10年前から、要介護認定者数も令和4年から減少しています。社会保障に係る施策については、必要な予算を充て、町民の生活や福祉の質の向上を図ります。

予算を編成する際は、計画に基づいたものか、必要性や事業の費用対効果、行政サービスの向上に寄与するものか等を確認しています。その上で、総合計画の実施計画を基に、町民の福祉の向上や安心安全、町の目指す将来像などさまざまなことを考慮しながら、優先度の高い事業及び必要な事業を計画していきます。



平野 正紀

YouTubelにてこの一般質問の様子がご覧いただけます



陸上自衛隊の多連装ロケットシステム（MLRS）

**Q** 長距離ロケット砲訓練への対応について  
**A** 住民の安全を最優先に考え、国と調整等を行います

東富士演習場で行われた2回の長距離ロケット砲訓練と国産スタンド・オフ・ミサイル配備計画の対応について伺う。

**Q** 町長の今回の長距離ロケット砲訓練に対する見解は。

立場は、尊重されるべきものだと考えています。

**A** 町長

今回の射撃訓練は、現在の安全保障環境の中でやむを得ないもの、地域生活にも影響があると考えます。「今回限り」「苦渋の決断」とした地元の

**Q** 国からの協議要請の進め方は地元軽視であるが当局の見解は。

**A** 企画総務部長  
国に対して、地元自治体と住民の理解を最優先とする丁寧な説明と調整

**Q** 国のミサイル配備計画に対する受け止め方や、住民感情はどうか。

**A** 企画政策課長  
町内、特に須走地区の住民感情については、町に対し特段、個別連絡や抗議の声は寄せられていません。

を徹底するよう求めています。

**A** 企画総務部長

住民生活の安全を最優先に考え、国への情報提供や地元への対応について要望していきます。

**Q** 健康アプリとKINCAの活用による町民サービス向上を  
**A** KINCA活用でアプリ参加促進と利便性向上へ努めます

おやま健康マイレージアプリ、デジタル地域通貨KINCA（キンカ）の普及促進、KINCAによるプレミアム商品券販売の検証と今後の展望を伺う。

**Q** 健康マイレージアプリの普及促進に向けての展望、目標は。

**A** 住民福祉部長

多くの方に公式アプリと健康アプリを紐づけしてもらえよう積極的なPRに努め、参加者2000人を目指します。

**Q** デジタル地域通貨KINCAの普及促進に向けての展望、目標は。

**A** 企画総務部長

ポイント付与などのインセンティブを充実させていきます。また、KINCAで町からさまざまな支給等に活用できるよう研

究していきます。

**Q** 今回のプレミアム商品券はKINCAと従来の紙との並行販売であったが、購入者の意見は。

**A** 経済産業部長

KINCAは1円単位で使い便利との声が多い一方、販売方法や利用店舗数に課題があり、紙券は希望者への提供方法に改善の余地があります。

**Q** KINCAによるプレミアム商品券販売の今後の展望は。

**A** 経済産業部長

商工会と連携し、KINCAを基本に継続しつつ、デジタル利用が難しい方にも利用できる手段を検討し、利便性の向上を図ります。

令和7年

# 小山町高校生議会を開催

■進行/渡邊 瑛太 議長

地域の住民の安全と生活について

■鈴木 志緒理 議員  
■櫻井 伊織 議員



高校生議会終了後に参加者全員で記念撮影

○小山高校へつながる通学路は街灯が少なく、秋や冬は、部活動が終了する頃にはほとんど真つ暗になってしまいます。街灯の設置は難しいと考えるので蓄光シートを活用してはどうか。

○小山町の観光をもっと栄えさせるために、小山町にはさまざまなメディア作品の舞台、いわゆる「聖地」があるという特長を生かした「小山町メディアマップ」を作ることが効果的ではないか。

○小山町では地域と高校生の交流が少なく、関係があまり深くないと感じる。普段から地域との関係を築いておくことが大切。高校生が地域ボランティアや体験活動に積極的に参加できるような仕組みを作って

○高校生が小山町について深く知る機会に限られ

11月15日(土)に、小山高校から11名の生徒が参加して、今回で10回目となる小山町高校生議会を町当局と共同開催しました。高校生議会は、高校生にも町政や町議会に関心を持ってもらうことを目的にスタートしたものです。

当日は、渡邊瑛太議長が進行し、緊張しながらも堂々と、日常生活の課題や、町の将来を見据えた提言など4つのテーマが質問されました。

工状況を研究しながら、試験的に小山高校の通学路へ設置し、安全安心で特色のある通学路を整備していきたいと考えています。

メディアを使った小山町観光推進について

■日比野 早希 議員  
■徳田 唯花 議員



○小山町フィルムコミッションや町のホームページでロケ支援実績を掲載していますが、ロケ地マップの作成まではいたっていない。熱心なファンが、地図を片手に町内を回遊しながら、消費活動につながる効果が期待できるロケ地マップは、町の魅力向上にもつながります。

まずは、紙のマップの作成に向け準備を進め道の駅などの施設に配架したいと考えています。

地域と高校生の連携について

■原田 和奏 議員  
■小池 葵 議員  
■伊藤 春奈 議員

いくことが必要ではないか。

○地域と高校生の皆さんが日頃から関わり合い、信頼関係を築くことは、災害時の助け合いはもちろん、地域の活力向上にもつながる、とても大切なことだと考えています。

高校生アイデアを取り入れながら、高校生が地域の一員として活躍できる新しい機会づくりについても検討していきたいと考えています。

笙陵祭を通した小山高校生と小山町の交流について

■近藤 志音 議員  
■梶 碧桜 議員  
■佐藤 美有 議員  
■佐々木真之介 議員 (当日欠席)



ています。笙陵祭で学校と地域が一体となり、生徒と町民が交流を深めるため、笙陵祭に小山町の商店や特産品の販売、体験ブースを設け、町の広報と連携した告知を行うなど、笙陵祭を通して地域交流について、町の考えは。

○笙陵祭を地域と一体となつて盛り上げたいという思いは、地域の活性化や若者の地元定着の観点からも非常に意義のある取り組みであると感じています。

今後も町として、商工会や企業懇話会、観光協会など関係団体と連携しながら、高校生の皆さんが地域で活躍できる機会をさらに広げていけるよう、学校との連携を一層深めていきたいと考えています。



# 令和7年度 小山町議会報告会 のご案内

■日時：2月6日(金) 19:00～20:30

■場所：小山町健康福祉会館 多目的ホール

## 内容

### 報告事項

- ・ 町営温水プール建設事業の状況について
- ・ 小山消防署建設事業の状況について

### 意見交換会

- ・ 総務建設委員会  
～新東名開通とこれからのまちづくり～
- ・ 文教厚生委員会  
～小中一貫校化について～

意見交換会は、委員会ごとのテーマに分かれて行います。  
幅広い世代の方から御意見を頂戴したいと考えていますので、  
お誘い合わせの上、お気軽にお越しください。



# 議員が行く！ まちかどインタビュー



特定非営利活動法人  
おでかけクラブ

代表 山本 和子さん  
やまもと かずこ

おしやれして  
でかけましょ  
かろやかに  
け(びんきよく)

厚生労働省から、介護予防・高齢者生活支援での取り組みが認められ表彰されました。

代表の山本さんに伺いました。

○この活動を始めたきっかけは。

何十年も前になりましたが、介護関係に携わっていましたが、町内には高齢者が気軽に外へ出かけて集える場所がないと感じていました。15年ほど前に古民家を使わせていただくことができ、周りからは心配する声もありましたが思い切って決断しました。

○どのような活動を。

火曜日と水曜日に開いています。町内各地から



(聞き手 牧野 恵一)

15人前後の方がおいでになります。健康維持や認知症予防を目的としてボランティアの皆さんと工夫して取り組んでいきます。回を重ねるごとに会話や笑顔が増えて私たちの励みになっています。

○小山町や小山町議会へ一言。

ボランティアは大変ですが必要とされています。やりがいがあります。皆さんには、温かく見守ってほしいです。

## 議員研修報告

(県内視察研修)

於 沼津市立  
静浦小中一貫学校  
西伊豆町役場

令和7年11月17日議会県内研修を行いました。沼津市立静浦小中一貫学校と西伊豆町ふるさと納税返礼品の取り組みを視察研修しました。

静浦小中一貫学校は、静浦地区の少子化に伴い児童が減少し複式学級の発生が懸念され、また、通学路の安全対策が課題となり小学校の統合と安全確保のため小・中学校の移転、一貫校化がされています。

一貫校の特徴である9年間の連続性を生かし4・3・2制と区分し「未来をデザインする力」「未来を実現する力」「未来に挑戦するための体・徳」を育ていくことを目標と掲げているとのことでした。

西伊豆町ではふるさと納税プロジェクトチームを編成し、返礼品開発をして地域産業の活性化・知名度アップ・地元事業者との連携等に力を入れて取り組んでいると説明を受けました。

今後、小山町でも小中一貫校化を進めるとのこと、またふるさと納税の開発にも頑張ってもらいたいです。



静浦小中一貫学校



西伊豆町役場

(記 室伏 辰彦)

## 3月定例会の開催予定

- 2月24日(火) 開会
  - 2月26日(木) 町長提案説明
  - 3月3日(火) 予算補足説明
  - 3月4日(水) 一般質問
  - 3月5日(木) 一般質問(予備日)
  - 3月6日(金) 総務建設委員会
  - 3月10日(火) 文教厚生委員会
  - 3月12日(木) 予算質疑
  - 3月18日(水) 閉会
- 委員長報告・討論・採決等  
いずれも、開会時間は10時の予定です。  
決定次第、無線放送等でお知らせします。

## 議会を傍聴して

みませんか

本会議は、議場内にある傍聴席で傍聴することができます。

傍聴を希望される方は、会議の当日に、傍聴席入口で、住所・氏名を書いてから傍聴ができます。

傍聴の定員は29名です。

## 編集後記

冬の晴れた日、堂々と聳える富士山。その姿が一年で最も眩しく映える今日この頃。富士のように何があっても微動だにしない心の強さを持ちたいものですが……。まだまだ修行が足りません。

一方、日々変わらぬ佇まいの富士山とは対照的に、議会は町の未来に向け「前へ！前へ！」と動き続けています。議会は皆様の生活に直結する大事な議論の場です。今号も、議員の個性が光る一般質問や、町の「今」を映し出す施策を凝縮してお届けします。

これからも、進化し続ける議会の姿をより身近に、わかりやすくお届けできるように努めてまいります。

(記 石原 和美)

## 《編集委員》

- 委員長 平野 正紀
- 副委員長 池谷 元
- 委員 石原 和美
- 委員 牧野 恵一
- 委員 小林千江子
- 委員 室伏 辰彦